



高校生のための 英語を学ぶ新視点

心の裏側から

Yuki Eigo

はじめに

はじめまして。

この本は、高校で英語を勉強しはじめたけど高校の英語ってちょっと難しいなとか、なんとなくついていけないかなとか考え始めている高校1年の1学期を終えた高校生に向けて構想したものです。

まず、以下の映像を見てください。

http://www.ted.com/talks/lang/en/itay_talgam_lead_like_the_great_conductors.html

いかがでしたか？

今の時代はすばらしい時代ですね。世界中の第一級の方のお話を聴くことがインターネットを通して簡単にできるのですから。

話はそれますが、友達って何でしょう？いままでも、また、新しい高校での1学期でもいろいろな友達に会ってますよね。ひとつの考え方として、時間を共有するというのが友達の条件なのかもしれません。

この意味では、あなたと私は友達なのかもしれません。

上に紹介した映像を同じように見たのですから。すこしあつかましかったかもしれませんね。

それでは、少し英語について考えてみましょう。

インターネットがすばらしいという話をしましたが、他にもいろいろとおもしろい変化が起こっています。そのひとつが脳科学です。脳科学の詳細は、それぞれインターネットやさまざまな書籍を見てもらえばよいと思いますが、ここで私がひとつだけ取り上げるとすれば、脳の記録容量は、普通に感じているよりも、はるかに広大でほとんど無限とっていいほどだという点です。

一人の人の脳ですらそうなのですから、70億人の脳が集まるとどうなるでしょう。それぞれ地球を動かしたり、宇宙に影響を与えたりできるのではと思えるほどです。

この意味で、わたしたちは無限の力をもっているということです。ただ、その一方で限りがあるものがあります。それは、わたしたちの命です。

命、そして時間が限られているがゆえに、広大な知識を学ぼうとしても、全部は無理！となってしまうのです。

さて、高校の1学期、いかがでしたか？長かったですか？苦しいことをしている時間は長く感じますね。でもおそらく十年、二十年経って振り返ってみるとほんの一瞬に見えることでしょう。

わたしたちに必要なことは、この一瞬にも近い時間の中で、人の心のなかに、記憶を刻みつけることなのです。そのためには、そのときどきでひとまとまりにした知識として自分の考えをみんなにわかってもらう必要があります。

そのためには、まず自分が理解したことを、ひとまとまりにすることが大切なのです。先ほどの指揮者を紹介したビデオですが、楽しかったですか。新しいことを知るというのはとても楽しいですね。でも、きっと英語のここが聞き取れなかったとか、この文法はまだ習っていないとかあったかもしれませんね。

できなかったこと、それはそれで重要なのですが、限られた命の輝きを活かすためには、わかったことが大事なのかもしれません。

ひとつでも何かを思いついたら、メールやブログに書いたり、自分の日記に書いたりしてみてください。

これが、英語で情報を得て、そして活かすという最初の一步なのですから。

まとめ

最後に宿題です。

インターネット上にあるアップル社の創業者スティーブジョブスのスタンフォード大学でのスピーチ映像を入手して、見てみてください。

これでまた、あなたと私は時間を共有することになりますね。

友達というのはおこがましいですが、私はひとりの友人として、あなたを応援しています。

あなたの人生の旅が素晴らしいものでありますように。